地区リーダーシップ・プラン

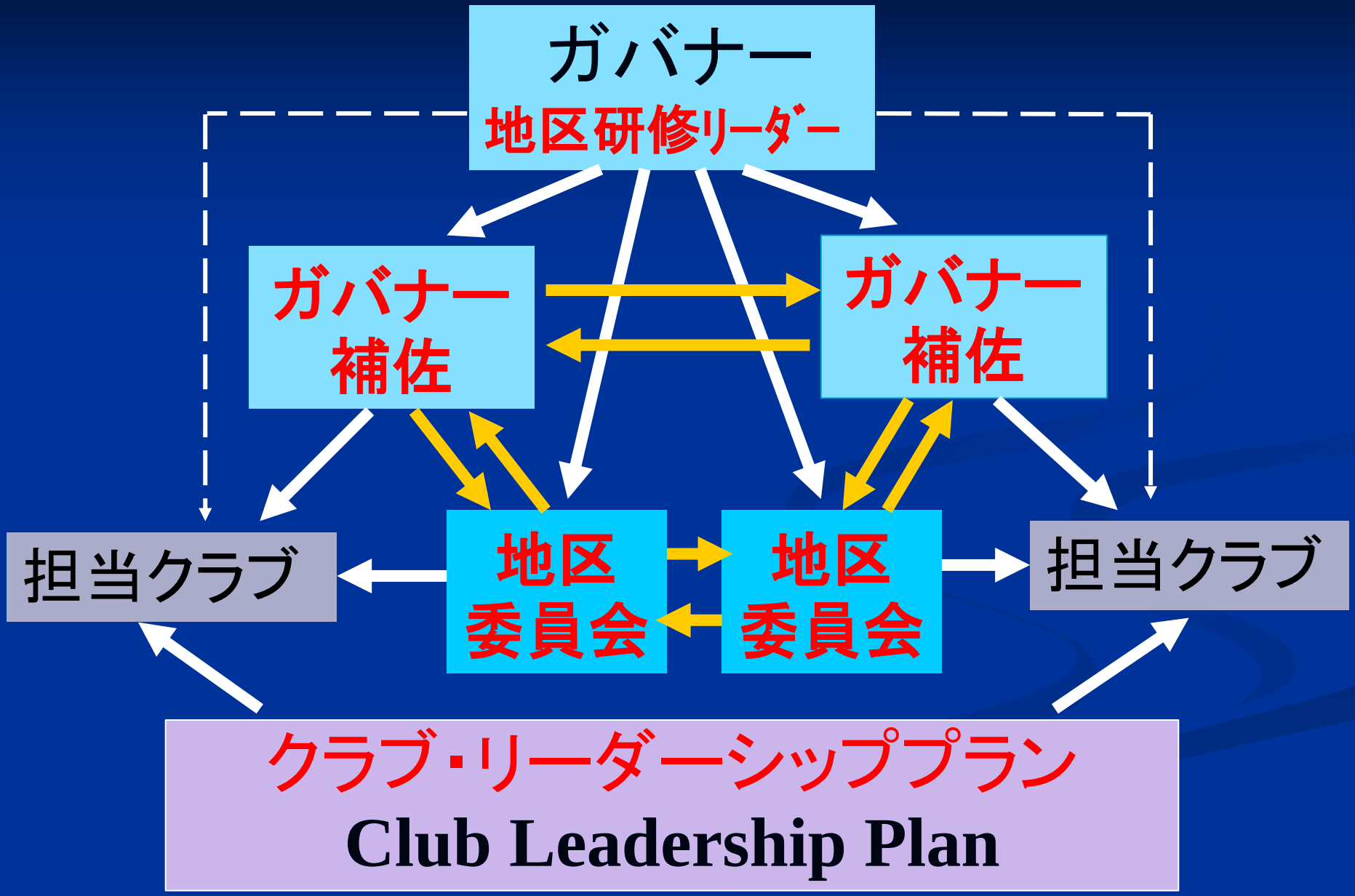
District Leadership Plan : DLP

2002年より、
世界のすべての地区で義務採用

DLPの目的
《地区レベル、クラブ・レベルで ロータリーを強化・充実する》

- クラブへの支援をより迅速かつ適切にする。
- 十分に研修を受けた地区指導者の候補者をより多く育成する。
- 財団プログラムや地区活動への参加を活性化する。
- 革新的な指導者としてのガバナーの役割をさらに取りくみがいのあるものにする。

DLPによる地区管理


ガバナー
地区研修リーダー
ガバナー補佐
ガバナー補佐
担当クラブ
地区委員会
地区委員会
担当クラブ
クラブ・リーダーシッププラン
Club Leadership Plan

DLPの具体的な実施計画

- 地区のニーズに基づいたガバナー補佐の任命。 ４～８クラブを担当。
- ガバナー補佐の研修
- 委員会構成の見直し

  委員会の新設と統廃合。従来の委員会構成にとらわれない、活動内容による機能的な編制。

クラブ・リーダーシップ・プラン

Club Leadership Plan：CLP

2004年11月RI理事会で決定

ROTARY INTERNATIONAL

クラブ・リーダーシップ・プラン（CLP）は、

・地区リーダーシップ・プランの延長計画

・目的は、ロータリークラブの充実

➡ **効果的なクラブへ**

効果的なクラブの要素

（RI）

効果的なクラブは次のことができます

- 会員基盤を維持、増大させる
- 成果をもたらす奉仕プロジェクトを実施する
- ロータリー財団を支援する
  + 米山奨学支援
- クラブのレベルを越えた指導者を育成する

クラブ・リーダーシップ・プラン（効果的なクラブ管理）

五大奉仕部門

標準ロータリークラブ定款に「クラブの目的」が追加された！

2016年規定審議会 制定案16-06

第3条 クラブの目的

本クラブの目的は、「ロータリーの目的」の達成を目指し、五大奉仕部門に基づいて成果あふれる奉仕プロジェクトを実施し、会員増強を通じてロータリーの発展に寄与し、ロータリー財団を支援し、クラブレベルを超えたリーダーを育成することである。

CLPにおける９段階の実行策

（2005年当時）

1. 効果的なクラブの要素に取り組む**長期計画を立案**する。
2. 「効果的なRCとなるための活動計画の指標」を活用し、クラブの長期計画と調和した**年次目標を設定**する。
3. 会員を計画過程に参加させ、ロータリーの活動に関する情報を伝えるための**クラブ協議会を実施**する。
4. クラブ役員、クラブ会員、地区指導者の間で明確なコミュニケーション（**意思の疎通**）を図る。

5. 引継ぎ計画を含め、クラブの指導力と奉仕プロジェクトに**継続性**をもたせる。
6. **クラブ委員会構成**とクラブ指導者の役割と責務を反映させるべく、**クラブ細則を改正**する。
7. クラブ会員の**親睦をさらに深める**ような機会を提供する。
8. **会員全員**がクラブのプロジェクトや業務に**活発に関与**するよう計らう。
9. **包括的な研修**を企画する。

包括的な研修企画とは

- クラブ指導者が地区研修会合に出席する。
- 新会員のための一貫したオリエンテーションを定期的に実施する。
- 現会員のための継続的教育の機会を提供する。
- 全会員が指導力育成プログラムを受けることができるようにする。

CLPにおける９段階の実行策

（2005年当時）

1. 長期計画の立案
2. 年次目標の設定
3. クラブ協議会の実施
4. クラブ内および地区との意思の疎通
5. 指導の継続性
6. 機能的な委員会構成とクラブ細則の改正
7. 親睦を深める機会
8. 会員全員参加
9. 包括的なロータリー研修

元気なクラブとなるためのステップ

（現在の CLP）

1. クラブの3～5年後の姿を描く
2. 年次目標を立て、ロータリークラブ・セントラルに入力する
3. 会員が積極的に参加でき、情報豊かな例会とする
4. クラブ内でオープンなコミュニケーションを図る
5. 後継者を育て、スムーズな引き継ぎを図る
6. クラブの運営方法を反映させて、細則を独自に修正
7. 会員同士の交流を深める
8. 会員が心から関心をもてる活動に参加できるように
9. ロータリーのリーダーとなる人材を育てる
10. クラブ運営に必要な委員会を設置する

元気なクラブづくりのために

日本

クラブ・リーダーシップ・プラン

Rotary

245-JA

標準ロータリークラブ定款にクラブの常設委員会が明文化

2016年規定審議会 制定案 16-05

第13条　理事および役員および委員会

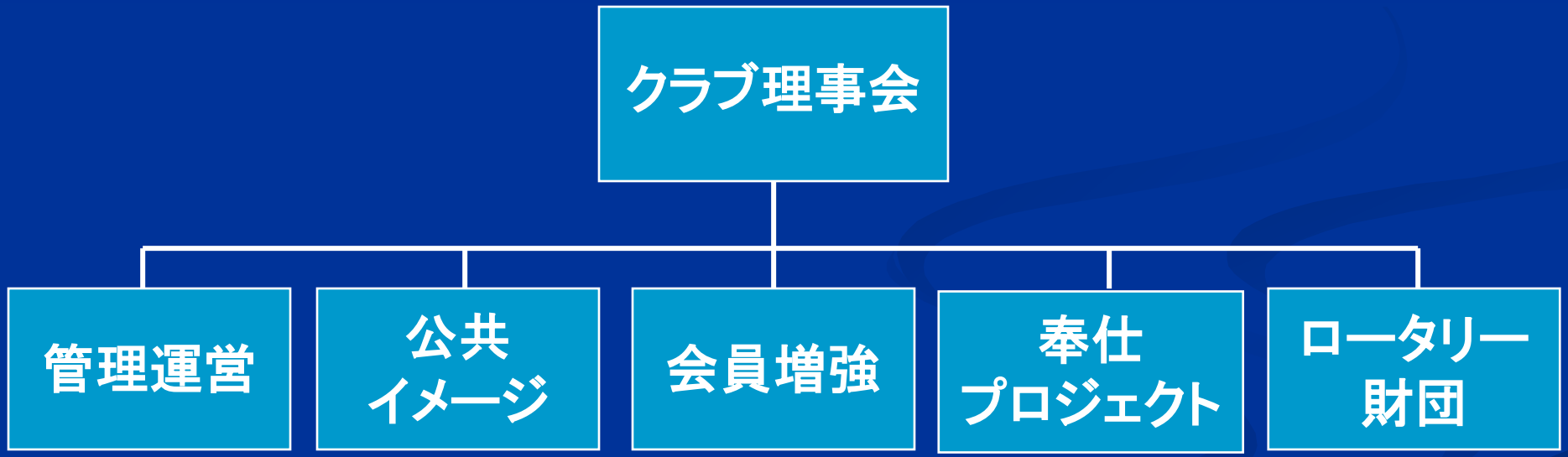
第7節— 委員会。本クラブは次の委員会を有すべきである。

- クラブ管理運営
- 会員増強
- 公共イメージ
- ロータリー財団
- 奉仕プロジェクト

必要に応じて追加の委員会を任命できる。

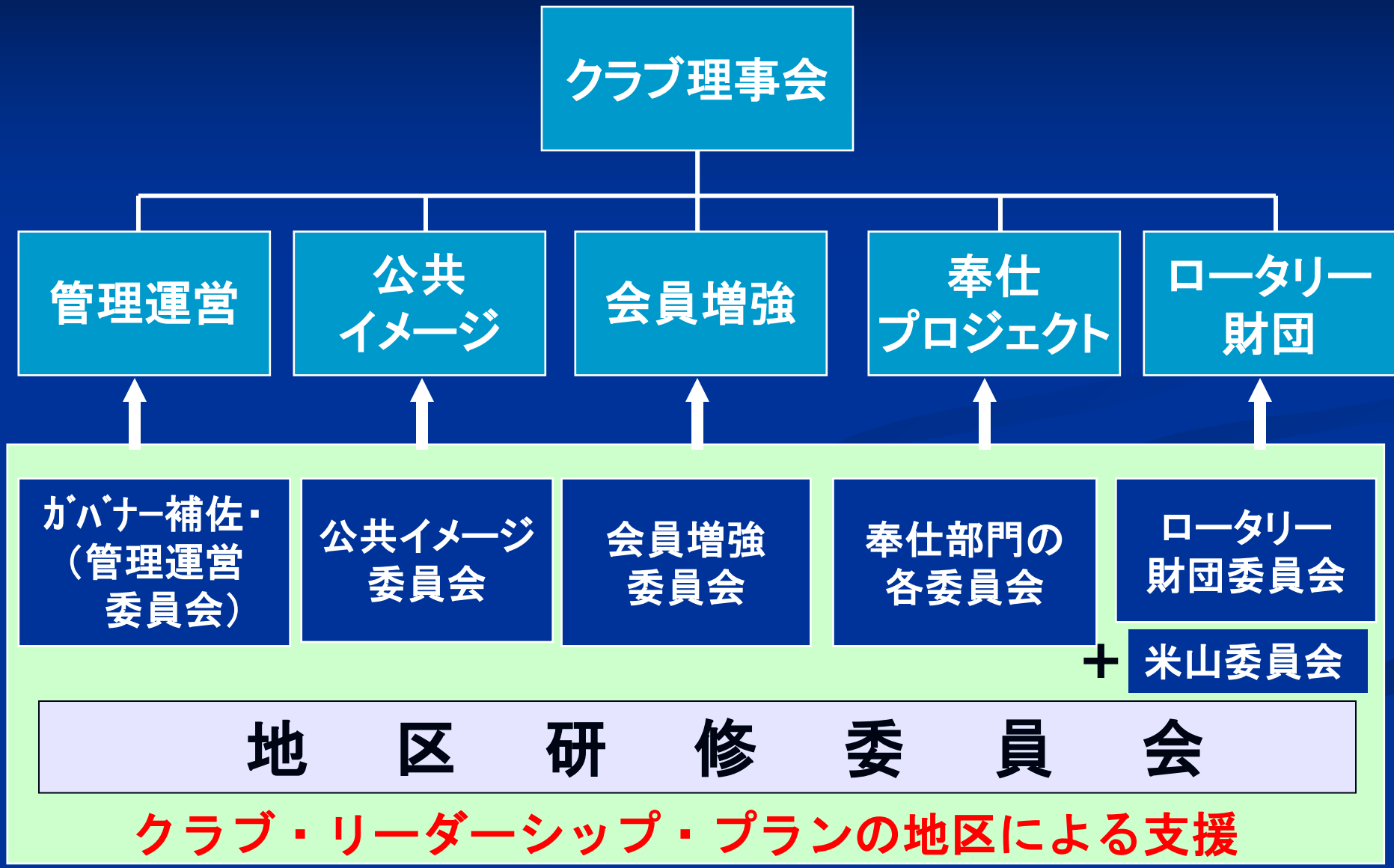
CLPによる常設委員会構成

標準ロータリークラブ定款の機能別委員会構成（四大奉仕に基づく4つの常任委員会と14の小委員会 → 5つの常設委員会へ）



＊その他必要に応じて委員会を設けることができる。

クラブと地区組織（CLPとDLP）



CLPの課題（克服すべき問題点：当時）

1. CLPに基づく委員会構成を形式的に採用して、従来の委員会活動との整合性が取れていない。（委員会活動の停滞）
2. 「推奨クラブ細則」をコピーしただけで、自クラブのビジョンや実際活動を反映した細則となっていない。
3. 戦略計画（長期計画）の立案、年度目標の設定、継続性の確保ができていない。
4. ロータリー（の理念と実践に関する）研修が不十分。 ⇒ 「クラブ研修リーダー」の設置
   RLIセミナーの導入

CLPの導入・推進は、クラブの
あり方を見直す絶好のチャンス

全員参加で、継続的なクラブ改革
あるべき姿と現状のギャップを埋めてゆく

魅力的で活力ある
元気なロータリークラブ へ

クラブ研修リーダーについて

RIは、各クラブに「クラブ研修リーダー」（**Club Trainer**）の任命を推奨。

2006年11月RI理事会会合　決定104号
『ロータリー章典』*Rotary Code of Policies* 8.050

その目的は、クラブ･レベルのロータリー研修を強化･充実すること。

包括的な研修を計画･実行することが、クラブ活性化の突破口になる。

クラブ研修リーダー

任命　クラブ会長エレクトが、次年度のクラブ研修リーダーを1名任命する。他の役職と兼任も可。

任期　クラブ研修リーダーの任期は1年。連続で就任できる任期は3期まで。

資格要件　資格は特に要しないが、研修・教育の技能を持ったパスト会長、理事会メンバー、ロータリー情報委員会委員長などが望ましい。

クラブ研修リーダー

任務および責務

1. クラブの年間研修計画を立案し、実施・監督する。
2. クラブ研修リーダーは、すべての研修ニーズが満たされるようクラブ理事会および各種委員会と協力する。
3. 支援とアイデアを得るために、地区研修委員会、クラブを担当するガバナー補佐、地区ガバナーと協力する。
4. 「クラブ指導力育成セミナー」を計画・実施する。

地区研修リーダー（District Trainer）は、クラブ研修リーダー（Club Trainer）と連携し、クラブにおける　ロータリー研修の充実を支援することも、任務の一つです。

ロータリー・リーダーシップ研究会（Rotary Leadership Institute：RLI）

- 米国で始まった草の根的な指導力養成プログラム（1992年～）
- 現在ではRIの多地区合同奉仕プログラムとして世界の 405地区で採用
- 目的は、質の高いリーダーシップ研修を通じてロータリークラブを活性化すること
- 参加型・双方向型の討議により、参加者のロータリー理解を深め、モチベーションを高める　→ RLI日本支部のﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ参照

Rotary

戦略計画

価値観を行動に

私たちは、**親睦**を通じて生涯にわたる友情をはぐくみ、国や文化を超えた理解を促します。

私たちは**高潔性**をもって約束を守り抜き、倫理を守ります。

多様性を誇るロータリーは、さまざまな考え方をつなぎ、多角的なアプローチで問題に取り組みます。

私たちは、**奉仕**を通じて**リーダーシップ**と職業のスキルを生かし、地域社会の問題に取り組みます。

3つの
戦略的目標

私たちは責任あるリーダーとして、世界の切実な課題を
解決するために行動します。

戦略的目標

クラブのサポートと強化

- クラブの刷新制と柔軟性を育てる
- さまざまな奉仕活動への参加を奨励する
- 会員基盤の多様性を奨励する
- 会員の勧誘と維持を改善する
- リーダーを育成する
- ダイナミックな新クラブを結成する
- クラブと地区における戦略計画の立案を奨励する

人道的奉仕の重点化と増加

- ポリオを撲滅する
- 青少年や若きリーダーの支援、およびロータリーの6つの重点分野と関連したプログラムや活動において持続可能性を高める
- 他団体との協力やつながりを深める
- 地元と海外の地域社会で多大な成果をもたらすプロジェクトを生み出す

公共イメージと認知度の向上

- イメージとブランド認知を調和させる
- 行動を主体とした奉仕を推進する
- 中核的価値観を推進する
- 職業奉仕を強調する
- ネットワークづくりの機会、ならびにクラブ独自の活動について広報するようクラブに奨励する

戦略的目標

1. クラブのサポートと強化

Support and Strengthen Clubs

- クラブの刷新性と柔軟性を育てる
- さまざまな奉仕活動への参加を奨励する
- 会員基盤の多様性を奨励する
- 会員の勧誘と維持を改善する
- リーダーを育成する
- ダイナミックな新クラブを結成する
- **クラブと地区における戦略計画の立案を奨励する**

ロータリーの新しい ビジョン声明

私たちロータリアンは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています。

Vision Statement

Together, we see a world where people unite and take action to create lasting change – across the globe, in our communities, and in ourselves.

日本のロータリー 100 周年実行委員会アンケート調査結果

日本のロータリー 100 周年実行委員会委員長　斎藤　直美
日本のロータリー 100 周年実行委員会副委員長　石黒　慶一
日本のロータリー 100 周年実行委員会事務局長　水野　功

皆さんよくご承知の通り、米山梅吉翁をはじめとする先達のご尽力により、1920（大正 9）年 10 月 20 日に
タリークラブ（ＲＣ）が創立されました。2020 年、２回目の東京オリンピックが開催される年に東京ＲＣ
周年を迎えることとなりますが、それは同時に日本のロータリーの 100 周年でもあります。国際ロータリー（
元Ｒ１理事はこの機会を、改めて先達の歩みを顧みながら、日本のロータリーの未来を展望する絶好の機会と
本のロータリー 100 周年委員会」（今年度から「日本のロータリー 100 周年実行委員会」に改称）を立ち上

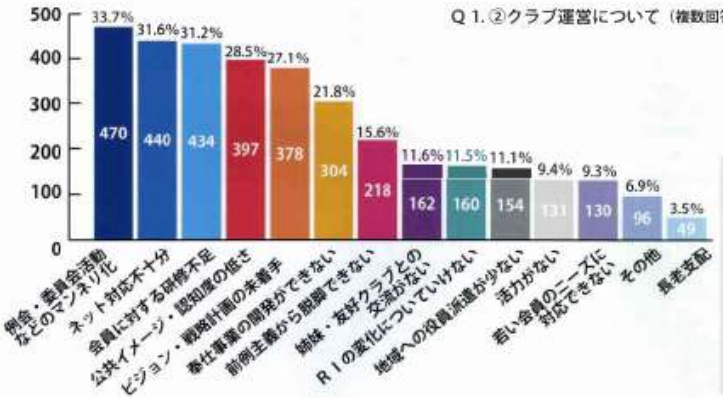
実行委員会では、この４～５月に全国 2,264 のロータリークラブに、現状の活動、および日本のロータ
ら 100 周年を迎えるにあたっての意識について、アンケート調査を実施いたしました。

調査は、2017 年４月 19 日～５月 31 日の期間、ウェブアンケート方式にて全国 2,264 クラブ宛てに
効回答数 1,393 件（61.5%）という大変高い回答率を得ることができました。アンケート内容はクラブの現
それに３つの委員会（ビジョン策定委員会・記念事業等委員会・組織連携委員会）について、４つの項目で
ました。以下、その結果について要点を絞ってご報告させていただきます。

1. クラブの現状と課題について

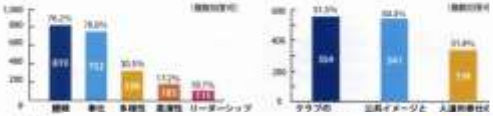
Q 1. あなたのクラブが直面している課題は何で
①会員について（複数回答可）

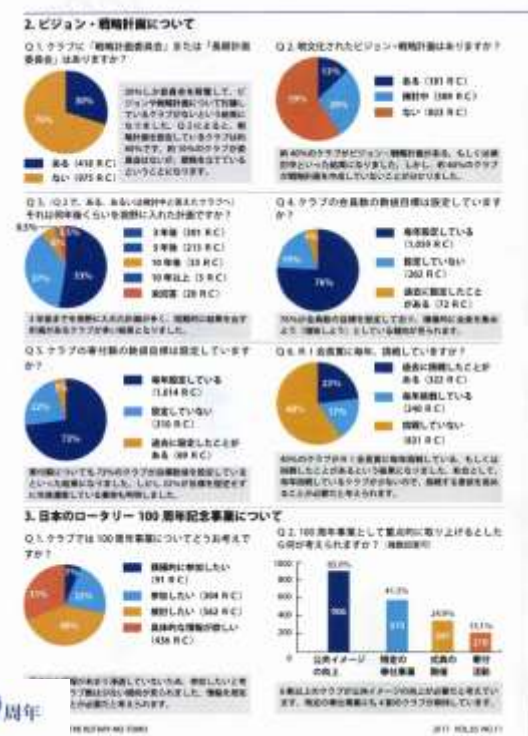
「会員の高齢化」と「会員の減少」が大きな課題となっています。また、入会候補者がいないことも多く、会員増強がクラブの大きな問題となっています。クラブの活性化が急務と考えられます。



Q 1.②クラブ運営について（複数回答可）

例会や活動のマンネリ化、ネット対応不十分といった項目が上位を占めています。その意味でのクラブの活性化は必要です。また、研修不足や公共イメージの向上、クラブ運営についての問題意識も高いようです。





日本全国のロータリークラブに対する意識調査

全国のロータリークラブへアンケート調査を行いました。
調査内容は以下の通りとなっています。

① 調査の目的

全国のロータリークラブの現状の活動について及び日本のロータリー発足より100周年を迎えるにあたっての意識調査のため

② 調査対象

全国のロータリークラブ（2,264件）除くPB

③ 調査方法

インターネットによるWEBアンケートにより調査を行った。

④ 調査期間

平成29年4月19日～平成29年5月31日

⑤ 有効回答数：1,392件

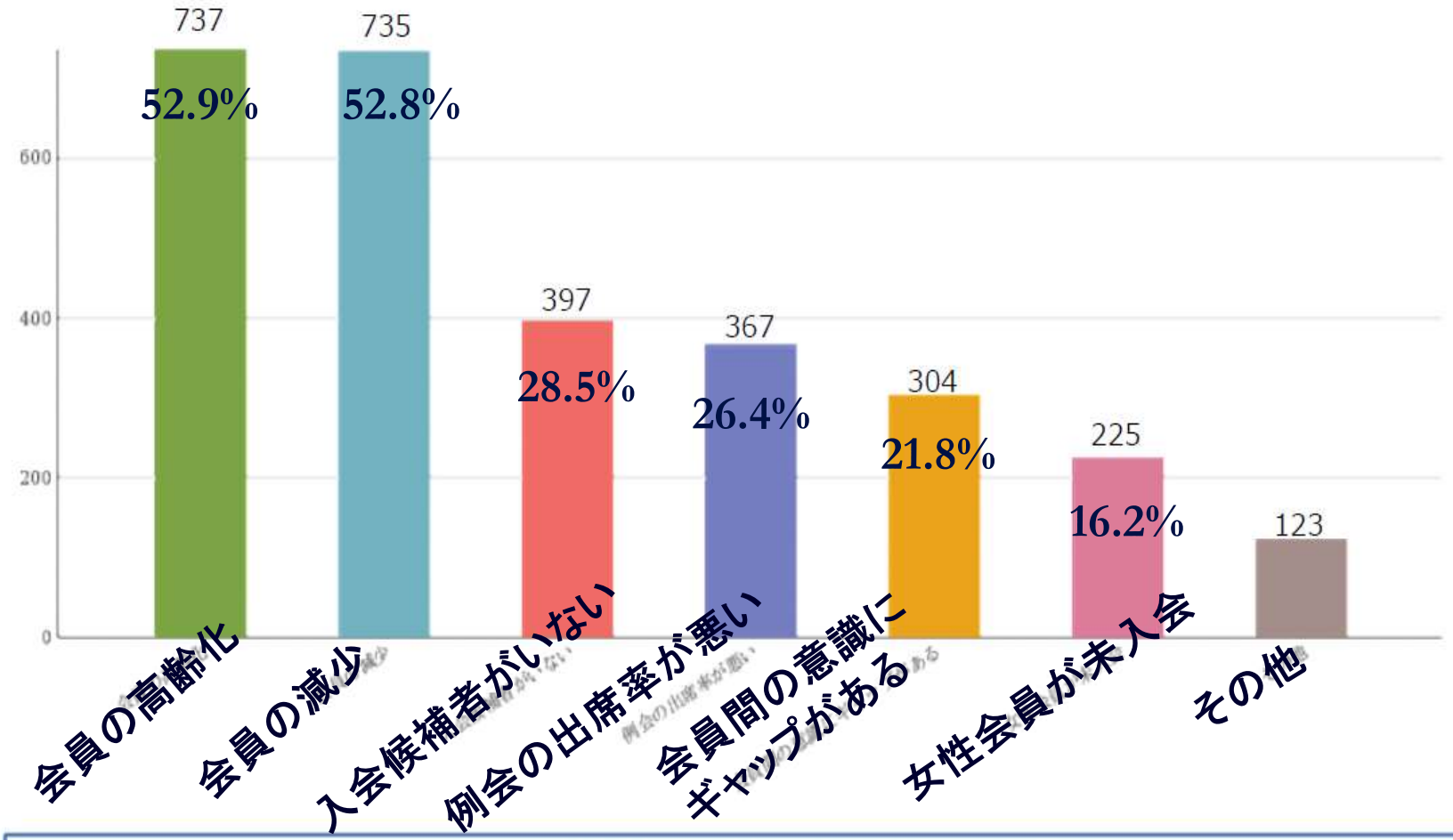
⑥ アンケート回収率： 61.5%

期間が短い今回のアンケートでありましたが、全国のクラブの60%以上という大変高い回答率のご報告をできました。あらためまして、クラブ及び、回答率向上にご協力を頂いた皆様に御礼を申し上げます。

また、今回のWEBを活用する方法が意見集約に効果的でありましたこと、ご報告させていただきます。

クラブが直面している課題（会員）

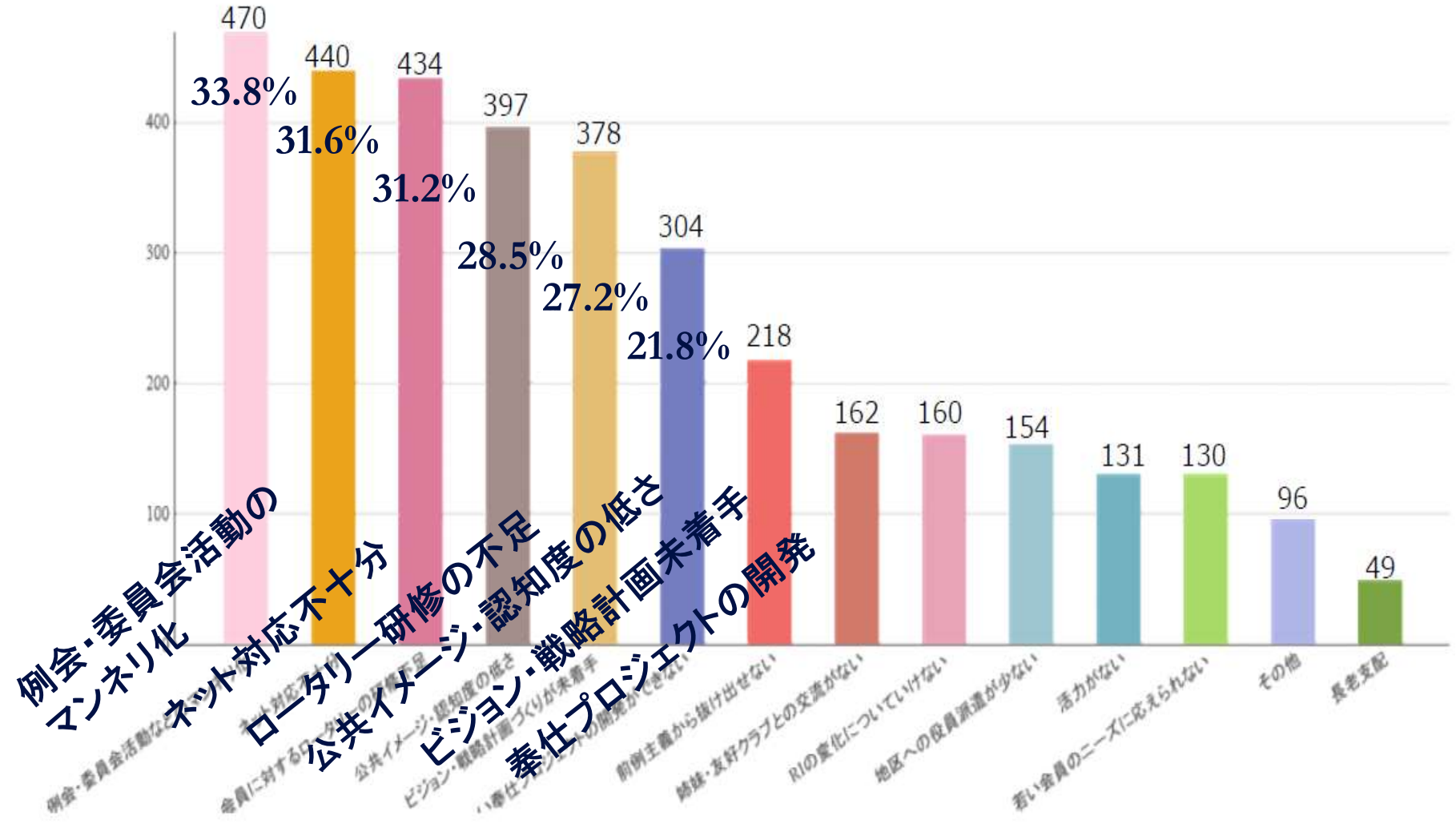
1.あなたのクラブが直面している大きな課題は何ですか？（複数回答可）
・会員について



会員の高齢化と減少が多い結果となりました。

クラブが直面している課題（クラブ運営）

1.あなたのクラブが直面している大きな課題は何ですか？（複数回答可）
・クラブ運営について



クラブのビジョン・戦略計画について

・明文化されたビジョン・戦略計画はありますか？

約40%のクラブがビジョン・戦略計画があるもしくは検討中といった結果となりました。
しかし60%のクラブが戦略計画を作成していないこともわかりました。

研修委員会

（地区を成功に導くﾘｰﾀﾞｰｼｯﾌﾟ ガバナー編　2.15ﾍﾟｰｼﾞ）

1. ガバナーとガバナーエレクトがクラブと地区のリーダーに研修を行うのを援助する。
2. 地区の研修計画全般を監督する。
3. 地区研修リーダーが委員長を務め、必要に応じて研修会合や委員会機能の責務を振り分ける。

本日のお話の目標(ゴール)

- 地区リーダーシップ・プラン(DLP)および クラブ・リーダーシップ・プラン(CLP)の目的と内容を再確認する。
- 地区研修リーダーおよび地区研修委員会の役割を考える。

地区研修リーダーセミナー（DTS）
地区研修リーダーと地区研修委員会の役割

革新的なリーダーとしてのガバナーが、その役割を最大限効果的に発揮できるよう、そして、ガバナーの思いを実現できるよう、地区研修リーダーの皆様の絶大なる ご支援をお願いいたします。

RID2840 PDG　2018年RI研修リーダー
本田　博己（前橋）
2018.9.5